

## 畜産概論

講師名	武田 哲	実務経験等	家畜保健衛生所での獣医師としての経験を活かし、家畜衛生の重要性を理解し、牛の基本的な衛生管理方法と牛の主な疾病に係る知識を習得するための講義・実習を担当している。
-----	------	-------	---

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
全学科共通・専門科目	全学科	選択(必修)・D群	1	通年	30	2
使用教科書・副教材	「新版 家畜飼育の基礎」:阿部 亮 他著 (一般社団法人社 農山漁村文化協会)					
授業の目的	畜産経営及び家畜の基礎的な事項のほか、畜産物(肉類、牛乳)の優れた機能について理解を深める。					
授業の到達目標	畜産経営及び家畜、畜産物の基礎的事項を理解する。					

月日	学習項目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
4月14日	畜産の役割と動向	動物の起源と種類と役割、日本の畜産業の特徴と動向について理解を深める。	2	講義	
5月19日	農場HACCP	大学校衛生管理区域の衛生管理について理解する。	2	講義	
6月7日	家畜の品種	家畜の品種の成立と家畜(牛、豚、鶏)の主な品種について理解する。	2	講義	
6月16日	家畜の生理・生態と飼育環境	(1)家畜の生理・生態と飼料を理解する。 (2)家畜の飼育環境とその調節の仕方を理解する。	2	講義	
8月19日	畜産物の特性	乳・肉の生産に関する要因や畜産物の特色・加工について理解する。	2	講義	
9月7日	飼料の生産と利用	飼料作物の種類と利用方法について理解する。	2	講義	
10月25日	畜産関係外部支援組織の役割	公共牧場や育成牧場、コントラクターなど外部支援組織の役割や活用効果について理解する。	4	事例研究	レポート①
12月21日	家畜飼養の実際(1)	乳牛や肉牛の飼養について理解する。	2	講義	
1月11日	家畜飼養の実際(2)	養鶏や養豚等の実際について理解する。	2	講義	
1月18日	家畜繁殖と育種	家畜の繁殖・増殖や能力の高い家畜づくりの方法について理解を深める。	2	講義	
1月25日	家畜飼育環境、衛生管理と家畜病気	環境変化が家畜の生育にどのように影響するかなどについて理解する。家畜の健康維持と疾病予防の基本について理解する。	2	講義	
2月1日	畜産の経営管理等	畜産経営管理はどのようにし、どんな点に留意すればよいか	2	講義	
2月16日	牛と人との関わり	「牛の博物館」の事例研究により、牛の生物学と、牛と人との共生に関する幅広い知識を習得する。	4	事例研究	レポート②
		合計	30	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

筆記試験の得点、提出物、出欠及び授業態度により評価する。  
評価割合 前期・後期:筆記試験:60%、平常点:40%(学習態度、提出物、出席状況)

履修に当たっての留意点等

授業は、教科書、配布資料等より進める。